

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年12月15日

計画の名称	昇龍道Ukiyo-e Routeで国際大交流時代を拓く愛知静岡広域観光活性化計画（重点③）												
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	愛知県												
計画の目標	愛知県と静岡県を貫く「昇龍道Ukiyo-e Route」（中部北陸における広域観光プロジェクト「昇龍道」のモデルコース）には、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康など有名武将ゆかりの優れた歴史観光資源や、浜名湖をはじめとする多様な自然資源が数多く存在する。愛知県と静岡県では、中部圏広域地方計画の広域連携プロジェクトである「3. 新たな観光交流おもてなしプロジェクト」を推進するため、これらの地域資源を最大限活用したテーマ性やストーリー性のある広域観光周遊ルート形成などの取組に合わせ、必要な基盤整備事業を実施することで、昇龍道エリアの魅力の更なる向上や、国内外からの誘客拡大を図り、当地域の観光交流拠点としての発展につなげていく。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	23,030	A	23,030	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1		R7
1	【愛知県・静岡県 共通目標】 観光客数16,395万人（R1）の増加 【愛知県・静岡県 共通目標】 計画区域における観光客数 (観光客数の増加) = (評価時点の年間観光客数 - R1の年間観光客数)	16395万人	万人	16937万人
2	【愛知県 単独目標】 観光客数11,506万人（R1）の増加 【愛知県 単独目標】 計画区域における観光客数 (観光客数の増加) = (評価時点の年間観光客数 - R1の年間観光客数)	11506万人	万人	11930万人
3	【愛知県 単独目標】 ICから拠点施設へのアクセス時間の短縮 【愛知県 単独目標】 武豊ICからお江の方、野間大坊観光施設群（野間大坊）へのアクセス時間〔(国)247号（常滑美浜バイパス）〕 (アクセス時間の短縮) = (整備前のアクセス時間 - 整備後のアクセス時間)	21分	分	16分

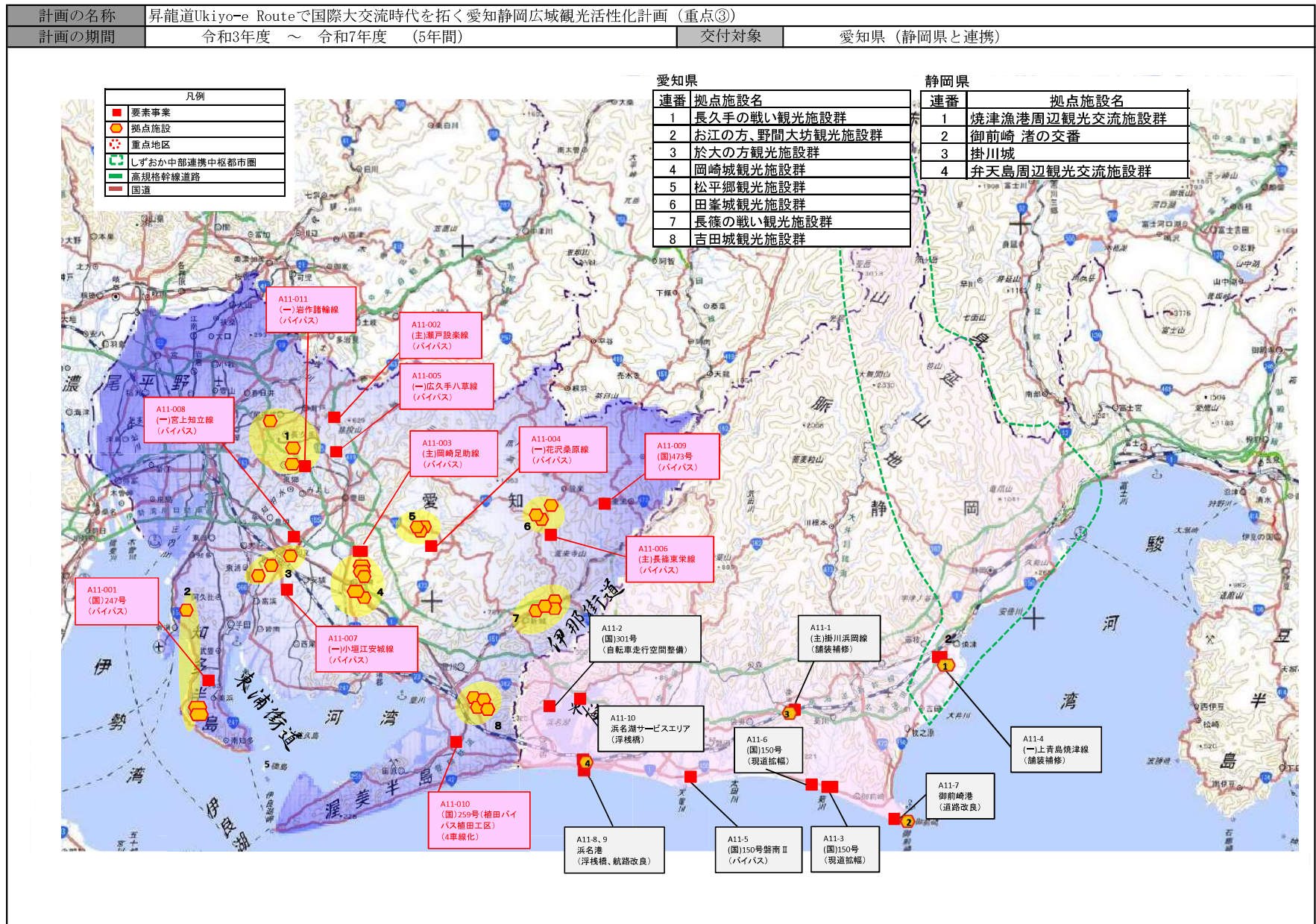
備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
○全体事業費に占める効果促進事業費（提案事業）割合は、0%となる。○その他事項については（参考様式2）整備計画関連事項に記載。														

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域連携事業	A11-001	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	国道	改築	（国）247号（常滑美浜バイパス）	L=2.0km（バイパス）	常滑市、美浜町	■	■	■	■	■	5,000	1.1	—	
	A11-002	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	（主）瀬戸設楽線（塩塚工区）	L=1.6km（バイパス）	瀬戸市	■	■	■	■	■	2,000	1.2	—	
	A11-003	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	（主）岡崎足助線（岩津細川工区）	L=0.2km（バイパス）	岡崎市	■	■	■	■	■	500	4.1	—	
	A11-004	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	（一）花沢桑原線	L=0.6km（バイパス）	豊田市	■	■	■	■	■	700		—	
	A11-005	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	（一）広久手八草線	L=2.0km（バイパス）	豊田市	■	■	■	■	■	2,400	1.2	—	
	A11-006	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	（主）長篠東栄線	L=2.0km（バイパス）	新城市	■	■	■	■	■	1,000	2.0	—	
											小計						11,600			

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域活性化事業	A11-007	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	(一) 小垣江安城線	L=1.9km (バイパス)	安城市、刈谷市	■	■	■	■	■	1,770	7.6	—
	小計																1,770		
広域連携事業	A11-008	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	(一) 宮上知立線	L=0.7km (バイパス)	刈谷市	■	■	■	■	■	660	2.7	—
	A11-009	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	国道	改築	(国) 473号 (月バイパス)	L=2.3km (バイパス)	設楽町、東栄町			■	■	■	7,000	1.6	—
		R5より新規																	
小計																7,660			
広域活性化事業	A11-010	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	国道	改築	(国) 259号 (植田バイパ ス植田工区)	L=2.1km (4車線化)	豊橋市				■	■	800	8.4	—
		R6より新規																	
	A11-011	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	(一) 岩作諸輪線	L=1.7km (バイパス)	日進市、長久手 市				■	■	1,200	1.2	—
		R6より新規																	

A 基幹事業																									
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況						
		種別	種別	対象	間接							R03	R04	R05	R06	R07									
		一体的に実施することにより期待される効果																							
		備考																							
																	小計						2,000		
																	合計						23,030		

(参考様式) 参考図面 (社会資本総合整備計画 広域連携事業)



社会資本整備総合交付金チェックシート

(広域連携事業)

計画の名称: 昇龍道Ukiyo-e Routeで国際大交流時代を拓く愛知静岡広域観光活性化計画(重点③) 事業主体名: 愛知県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
<input checked="" type="radio"/> 国土形成計画(全国計画)	
<input checked="" type="radio"/> 国土形成計画(広域地方計画)、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画	
<input checked="" type="radio"/> 社会資本整備重点計画	
・環境基本計画	
<input checked="" type="radio"/> その他(愛知県社会資本整備方針2025・あいちビジョン2030)	
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係	
1)広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
2)広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
4)拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1)拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
2)拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	—
⑥円滑な事業執行の環境	
1)民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	—
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03				
配分額 (a)	873				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	873				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	432				
翌年度繰越額 (f)	441				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					